

都市再生整備計画 事後評価シート(原案)  
宇都宮大学東南部地区

平成24年10月

栃木県宇都宮市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	栃木県		市町村名	宇都宮市		地区名	宇都宮大学東南部地区			面積	96.3ha		
交付期間	平成20年度～平成24年度		事後評価実施時期	平成24年度		交付対象事業費	5,102.8百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	公園(街区公園), 土地区画整理事業(宇都宮大学東南部第1地区, 宇都宮大学東南部第2地区)										
		提案事業	まちづくり活動推進支援(宇都宮大学東南部第1地区, 宇都宮大学東南部第2地区), 巡回安全ボランティア活動支援										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
		提案事業	なし										
	新たに追加した事業	基幹事業	土地区画整理事業(平松本町第三地区)		地元合意形成など、事業熟度の高まりにより事業を追加			まちづくりの目標に、水害に関する標記を追加					
		提案事業	雨水貯留管整備事業, 雨水管渠整備事業, 河川管渠整備事業		地区の水害に対する安全性を高めるために事業を追加			まちづくりの目標に、水害に関する標記を追加					
交付期間の変更	当初変更	平成20年度～平成24年度 なし		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			-						
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	狭隘道路率	%	72.44	H19	42.11	H24	-	41.33	○	あり ● なし	計画的に建物移転を実施し、区画道路を整備してきたことで、目標値を達成した。	平成25年4月末
	指標2	地区内人口の増加	人	5,135	H19	6,000	H24	-	6,137	○	あり ● なし	道路や公園等の公共施設の整備により、魅力的な居住地が形成されたことで、地区内の人口が増加した。	平成25年7月末
	指標3	公園整備率	%	9.78	H19	61.78	H24	-	35.62	△	あり ● なし	目標値の達成には至らなかったものの、街区公園の整備に伴い、公園整備率は向上した。	-
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1	公園までの到達時間	分	18	H19	/		-	12	/	/	地区内及び地区周辺における公園や道路の整備が行われたため、一時避難としての公園までの到達時間が短縮された。	平成25年4月末
	その他の数値指標2					/				/	/		
4)定性的な効果発現状況	土地区画整理事業の進捗により、住居等の建替が進み、地区内の老朽建築物が減少するなど、防災性が向上するとともに、良好な街並みが形成されつつある。												
5)実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等		
	モニタリング		なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-		
	住民参加プロセス		地元自治会と共にワークショップの開催				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 公園整備時のワークショップをきっかけに、地域住民に関心をもってもらう、公園愛護会活動への積極的な参加へつなげる。		
	持続的なまちづくり体制の構築		公園愛護会への参加に向けた働きかけを行う。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 公園愛護会の活動を一層活性化させるため、適宜支援や助言等を行う。		

## 様式2-2 地区の概要

### 宇都宮大学東南部地区(栃木県宇都宮市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標:高齢者、子育て世代が安全に、かつ安心して居住できるまちづくり 目標1:道路網の整備により、児童生徒の通学路における交通危険箇所を減らし、あわせて公園を整備し、子育て世代が安心して居住できる環境を確保する。 目標2:狭隘道路の解消によって、火災が起きた際の類焼を予防し、かつ消防車・救急車等の緊急車両の通行を容易にする。また一時避難策として公園を整備するとともに、雨水貯留管及び河川管渠を整備し、地区の災害に対する安全性を高める。 目標3:整備計画の周知、公園整備のワークショップの開催等を通じて、地区住民のまちづくりに対する関心を高め、まちづくりへの意識の向上を図る。	狭隘道路率	単位: %	72.44	H19	42.11	H24	41.33	H24
	地区内人口の増加	単位: 人	5,135	H19	6,000	H24	6,137	H24
	公園整備率	単位: %	9.78	H19	61.78	H24	35.62	H24



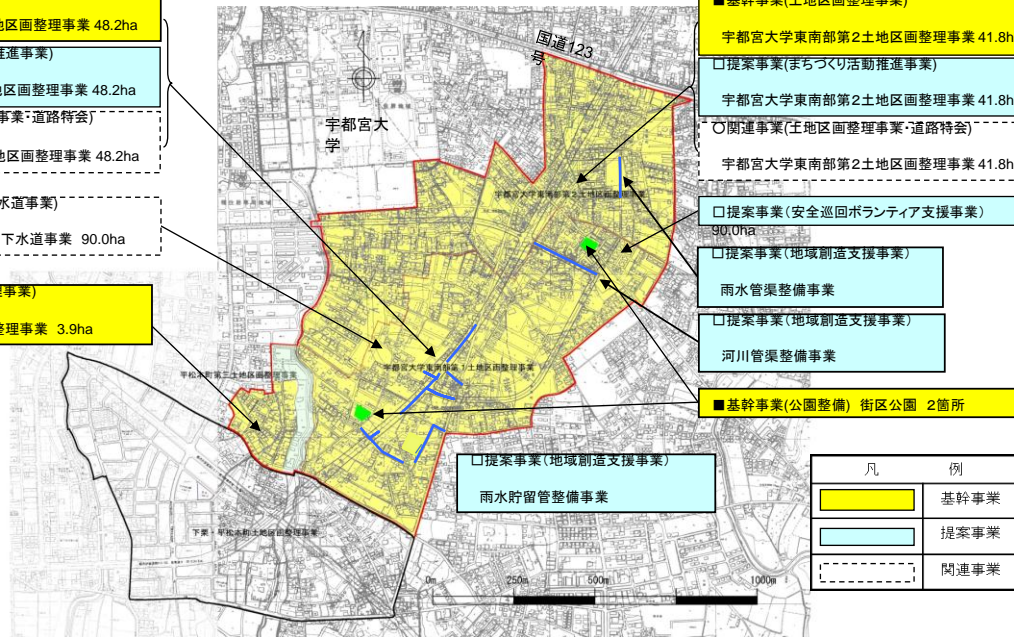
- 基幹事業(土地区画整理事業)  
宇都宮大学東南部第1土地区画整理事業 48.2ha
- 提案事業(まちづくり活動推進事業)  
宇都宮大学東南部第1土地区画整理事業 48.2ha
- 関連事業(土地区画整理事業・道路特会)  
宇都宮大学東南部第1土地区画整理事業 48.2ha

基幹事業:土地区画整理事業(宇都宮大学東南部第1地区)



- 基幹事業(土地区画整理事業)  
平松本町第三土地区画整理事業 3.9ha

基幹事業:土地区画整理事業(宇都宮大学東南部第1地区)



基幹事業:公園(街区公園:平松台あおぞら公園)



関連事業:土地区画整理事業(旧道路特別会計)  
(都市計画道路3・4・135宇大東南通り)

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区画道路の整備により、狭隘道路や行き止り道路の解消が図られた。また、換地に伴う、家屋移転により老朽住宅の建て替えが進み、防災面での改善が進んだ。</li> <li>・良好な宅地供給がなされたことにより、まちづくりに対する意識が高まり、不法投棄が減少した。また、公園整備が一部進んだことにより、地区住民の憩いの場が形成された。</li> <li>・公共下水道整備事業による污水管の整備や雨水貯留管、雨水管渠、河川管渠の整備により、地区内の生活環境は改善されつつある。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区内の道路整備により、地区内の利便性の向上を図る。</li> <li>・魅力的で質の高い住環境形成により、地区内の人口定着を図る。</li> <li>・地区内では大雨時に浸水被害が発生していることから、治水安全度の向上を図るため、引き続き河川管渠の整備を推進する。</li> </ul>